

別紙 運転免許センター移転に関する奈良県の主張と橿原市の認識

該当箇所	県知事の主張	市の認識
p1 下から4 行目	4月13日にはすでに奈良県警察本部の担当者が橿原市役所の担当者に対し、「山下知事が当選されたことにより、移転をどう判断されるか不明である」旨、橿原市役所を訪問して告げております。	4月13日の時点では、知事就任前であり、あくまで県警本部担当者の想定として「山下知事が当選されたことにより、移転をどう判断されるか不明である」と告げられたのは事実であるが、「県警としては、医大新キャンパス西側の土地が第一候補であることは変わらない」と聞いていた。
p1 下から1 行目	「山下知事の意向は不明であるが、大和平野中央田園都市構想も白紙になる可能性があるため、場合によってはその用地が運転免許センターの移転先になるかもしれない」旨を伝えております。	4月13日の時点では、知事就任前の想定として、県警からは県がすでに所有している土地を有効活用する可能性があると考えていたが、県警としては医大新キャンパス西側の土地が第一候補であるとのことであった。
p2 上から3 行目	11月15日には橿原市以外の県有地に運転免許センターが移転することに決まったことを明確に告げております。	医大新キャンパス西側の用地が候補地から外れたと報告を受けたもの。具体的な候補地を尋ねたが伝えられないとのことであった。田原本町に決定したことを正式に知ったのは、警務部長が市長に直接説明された1月12日である。市長が知事の記者会見の3日前に初めて知ったものである。
p2 上から5 行目	橿原市役所の担当者から頻りに電話で奈良県警察本部の担当者にお問い合わせがあり、県警の担当者が検討状況を報告しております。	県警からの連絡がないことから問い合わせたもの。問い合わせに対しては、「副知事に説明した」等の状況を報告を受けただけである。8月7日の電話報告によると、8月3日の知事への説明では、県警としては橿原市の当該地が第一候補であることを伝えていと確認している。
p2 上から10 行目	4月13日から同年11月15日までの奈良県警察本部と橿原市役所の協議に関する部分は橿原市役所の担当者も同様のメモを残しており	4月13日は協議であるが、11月15日は面談での報告を受けたのみである。それ以外は電話での状況報告であり協議ではない。この間、県警が橿原市の当該地を移転候補地であると考えていることから市として意見する余地はなかった。なお協議とは、「関係者が集まって相談すること」であり、県から報告を受けることが協議であると考えすることはできない。
p2 上から12 行目	橿原市長が知らなかったとすれば、それは橿原市役所内の意思疎通の問題である	市長には適宜報告されており、意思疎通に問題はない。市長が知らなかったとしているのは、移転先が橿原市内から田原本町に決まったことである。市長は警務部長が来られた1月12日、担当者はテレビの会見で田原本町に決まったことを初めて知った。11月15日以降、全く報告がなかった。